財務局
Regional Finance Bureaus

道北経済レポート



令和8年11月発行

財務省 旭川財務事務所

～希望ある未来へ 地域と歩む 北海道財務局～

目　　次

○ 概　　況 …… 1

【 各　論 】

1. 個人消費 …… 2～3
2. 観光 …… 4～5
3. 住宅建設 …… 6
4. 雇用情勢 …… 7
5. 公共事業 …… 8
6. 生乳生産 …… 9
7. 漁業 …… 10
8. 企業倒産 …… 11
9. 金融 …… 12

計数の表示方法等

- 数字の単位未満は原則として四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合がある。
- 符号の用法は次のとおりである。
  「0」～単位未満
  「-」～該当数値なし、未公表など
- 計数は、速報の確報化、誤計数の判明等により、過去に遡って訂正される場合がある。

（注）

- 令和8年11月判断は、前回8年8月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断しています。

道北経済レポート（令和8年11月） 概況

【総括判断】

項　目	前　回 （8年8月判断）	今　回 （8年11月判断）	前回判断 との比較	備　考
総括判断	持ち直しのテンポが緩やかになっている	持ち直している	↗ （上方修正）	判断の上方修正は、令和5年11月判断以来12期ぶり

先行き	先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待されるものの、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を引き続き注視する必要がある。

【各項目の判断】

項　目	前　回 （8年8月判断）	今　回 （8年11月判断）	前回判断 との比較
個人消費	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→
観光	回復のテンポが緩やかになっている	回復している	↗
住宅建設	一進一退の状況にある	一進一退の状況にある	→
雇用情勢	持ち直しに向けた動きに一服感がみられる	持ち直しつつある	↗
公共事業	前年を下回る	前年を上回る	↗

【参考】

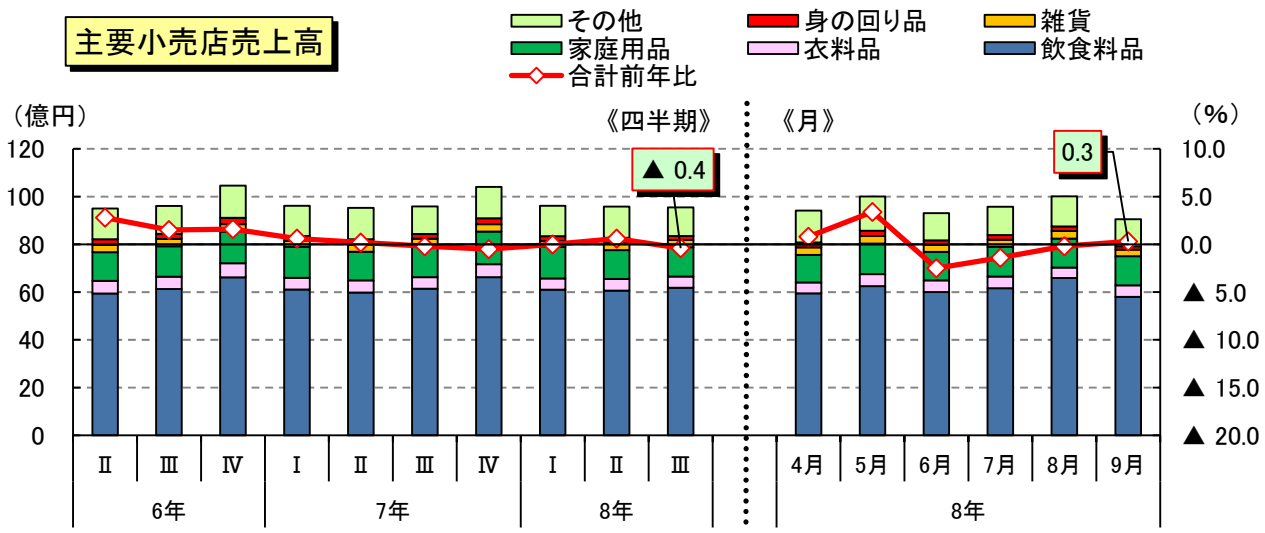
項　目	生乳生産	漁　業	企業倒産	金　融
今　回 （8年11月判断）	前年を下回る	水揚金額は前年を上回る	件数は前年を上回る	貸出金残高は前年を上回る

1. 個 人 消 費 ･･･ 緩やかに持ち直している

○ 主要小売店売上高は、飲食料品が堅調となっているものの、家電等家庭用品が低調となっていることから、全体では前年を下回っている。

○ 乗用車販売（新車登録等台数）は、軽自動車が前年を下回っているものの、普通車・小型車が前年を上回っていることから、全体では前年を上回っている。

主要小売店売上高



（注）四半期分は3か月の平均。

○主要小売店売上高　　（単位：百万円、%）

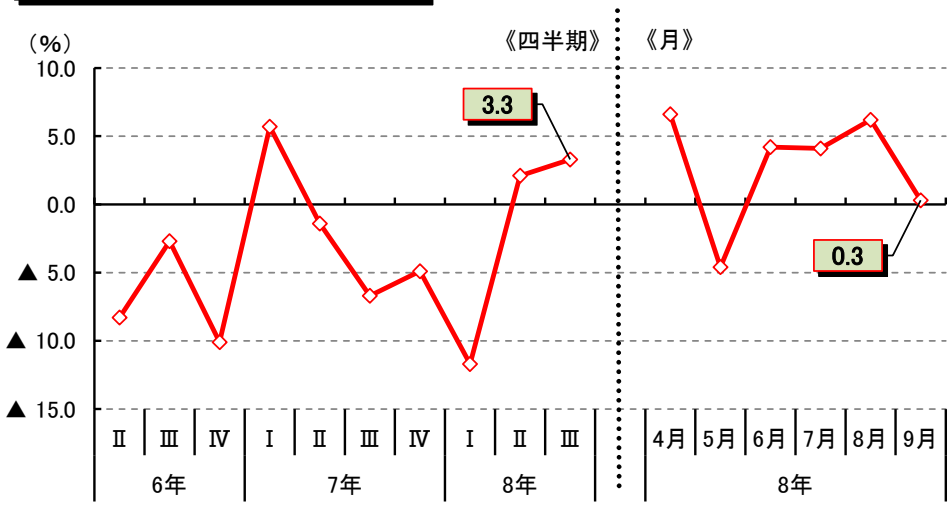
	合計	前年比	うち衣料品	前年比	うち身の回り品	前年比	うち雑貨	前年比	うち家電等家庭用品	前年比	うち飲食料品	前年比
5 年	114,470	0.5	6,405	▲ 1.3	2,848	3.8	3,640	▲ 5.9	14,550	▲ 2.9	72,210	1.4
6 年	117,354	2.5	6,416	0.2	2,811	▲ 1.3	3,557	▲ 2.3	15,305	5.2	74,121	2.6
7 年	117,374	0.0	6,083	▲ 5.2	2,625	▲ 6.6	3,467	▲ 2.5	15,534	1.5	74,552	0.6
7. 7~9	28,761	▲ 0.2	1,437	▲ 5.8	597	▲ 8.9	899	▲ 2.6	3,929	2.6	18,437	0.2
7. 10~12	31,207	▲ 0.5	1,637	▲ 7.5	757	▲ 5.7	924	▲ 0.9	4,096	2.9	19,867	0.1
8. 1~3	28,853	0.0	1,401	▲ 4.0	591	▲ 2.0	762	2.2	3,965	1.4	18,311	▲ 0.1
8. 4~6	28,725	0.6	1,445	▲ 6.7	615	▲ 8.0	916	1.9	3,634	1.0	18,201	1.5
8. 7~9	28,636	▲ 0.4	1,400	▲ 2.5	527	▲ 11.7	897	▲ 0.3	3,676	▲ 6.4	18,554	0.6
R8.4	9,412	0.8	459	▲ 7.6	207	▲ 9.7	318	2.2	1,151	0.7	5,944	1.5
R8.5	10,003	3.4	503	▲ 1.1	218	▲ 3.3	311	4.8	1,284	7.2	6,250	3.7
R8.6	9,310	▲ 2.5	483	▲ 11.2	191	▲ 11.2	286	▲ 1.4	1,199	▲ 4.7	6,007	▲ 0.6
R8.7	9,568	▲ 1.4	487	▲ 5.3	200	▲ 7.4	299	▲ 1.5	1,242	▲ 10.8	6,162	0.5
R8.8	10,014	▲ 0.2	439	▲ 2.2	186	▲ 11.7	325	0.5	1,208	▲ 6.1	6,588	0.9
R8.9	9,055	0.3	474	0.1	141	▲ 17.0	272	0.1	1,226	▲ 1.9	5,803	0.5

（注1）主要小売店売上高は、令和7年4月に集計対象小売店が変更となったため過去に遡って数字全体を再計算している。
（注2）前年比は、変更後の対象店舗で前年分を再集計の上、計算している。
（資料）旭川財務事務所

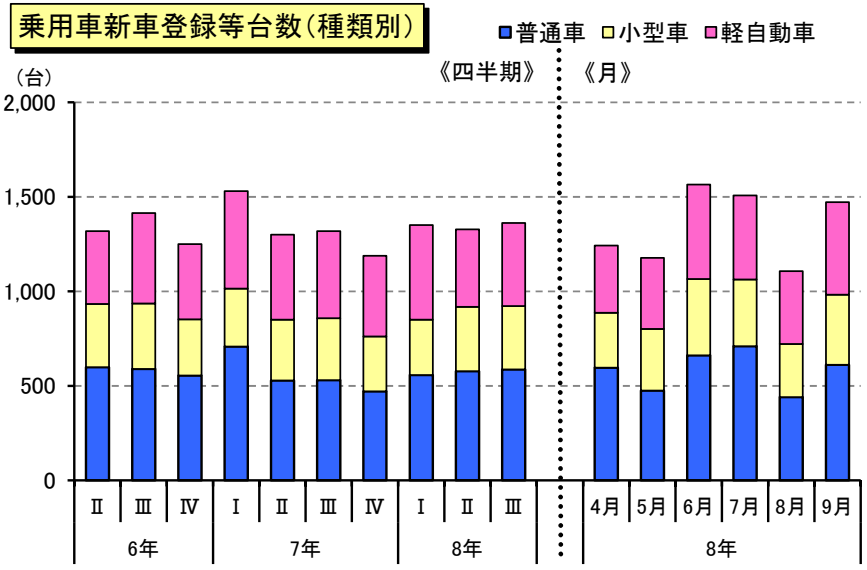
主要小売店 生の声

- 飲食料品については、野菜、果物の売上が堅調であり、精肉の売上も前年を上回って推移している。(複合商業施設)
- 酒税改正の影響としては、発泡酒等の駆け込み需要とビールの買い控えが重なり、酒類全体の売上は横ばいで推移した。（スーパー）
- サケやサンマの価格が不漁の影響により高騰していることから秋物商戦に苦戦しているものの、マグロなどの刺身用冷凍魚は安定して販売できているため、不漁による影響を補っている。（スーパー）
- 消費者の購買意欲の低調感は引き続きみられるものの、高価格帯の衣料品や雑貨も売れていることから、不景気という印象はない。（複合商業施設）
- 衣料品は、猛暑日が少なかった影響から夏物商品が売れず苦戦したが、9月に入ると急速に気温が下がり、秋冬物商品の売上が伸長した。（複合商業施設）
- キャリーケースの売上が不調であることから、旅行需要低下の影響を感じている。（複合商業施設）
- 猛暑日が少なかったことから、エアコン売上は前年と比較して大幅に減少した一方、冷風機や扇風機の売上は好調に推移した。（ホームセンター）
- 昨年、既存OSサポート終了によるパソコンの買い替え需要や新型ゲーム機発売による特需があったものの、今年はその反動減により、売上を大きく落としている。（家電量販店）
- アミューズメント売上や雑貨売上が大幅に増加しており、特にガチャガチャが夏頃からブームとなっている。（複合商業施設）

乗用車新車登録等台数（前年比）



乗用車新車登録等台数（種類別）



（注）四半期分は3か月の平均。

○乗用車新車登録等台数　　（単位：台、%）

	合計		うち普通車		うち小型車		うち軽自動車	
		前年比		前年比		前年比		前年比
5 年	18,460	17.3	7,611	31.0	5,132	9.0	5,717	9.5
6 年	16,290	▲ 11.8	7,278	▲ 4.4	3,832	▲ 25.3	5,180	▲ 9.4
7 年	16,010	▲ 1.7	6,712	▲ 7.8	3,739	▲ 2.4	5,559	7.3
7. 7～9	3,956	▲ 6.7	1,590	▲ 10.1	984	▲ 5.5	1,382	▲ 3.6
7. 10～12	3,563	▲ 4.9	1,414	▲ 15.0	870	▲ 2.6	1,279	7.4
8. 1～3	4,051	▲ 11.7	1,673	▲ 21.2	878	▲ 4.7	1,500	▲ 3.0
8. 4～6	3,984	2.1	1,733	9.3	1,020	5.8	1,231	▲ 8.9
8. 7～9	4,086	3.3	1,761	10.8	1,006	2.2	1,319	▲ 4.6
R8.4	1,242	6.6	596	15.7	290	13.7	356	▲ 9.9
R8.5	1,177	▲ 4.6	475	▲ 3.3	326	▲ 4.4	376	▲ 6.5
R8.6	1,565	4.2	662	14.1	404	9.8	499	▲ 9.9
R8.7	1,507	4.1	710	27.9	353	▲ 14.9	444	▲ 6.9
R8.8	1,107	6.2	440	4.3	281	17.1	386	1.6
R8.9	1,472	0.3	611	▲ 0.3	372	13.1	489	▲ 6.9

（資料）㈳日本自動車販売協会連合会旭川支部、㈳旭川地区軽自動車協会

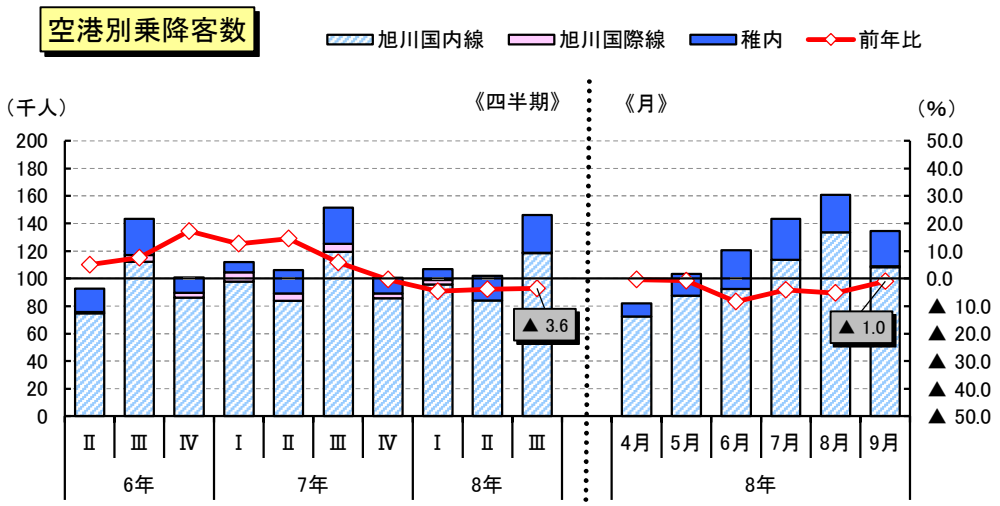
乗用車 生の声

- メーカー各社が計画的な生産体制へ移行したことなどから、納期長期化の改善が進んでおり、今後新車登録台数が大きく落ち込む可能性は低いとみられる。(一般社団法人)
- 残価設定型クレジットなど購入方法の多様化により、購入のハードルは低下している。マイカーローン金利上昇による自動車の買い控えの動きは現時点でみられず、北海道では自動車は生活必需品であることから、今後も一定の需要はあると考えている。（一般社団法人）
- 物価高に対して収入増が追いついていないことから、買い替えサイクルが伸びており、車齢が長期化している。(一般社団法人)
- 中東情勢の影響による燃料価格の上昇を受け、新車や部品の輸送コストにも影響が及んでおり、価格転嫁の時期を慎重に見極めている状況である。（乗用車販売店）

2. 観　　光　・・・　回復している

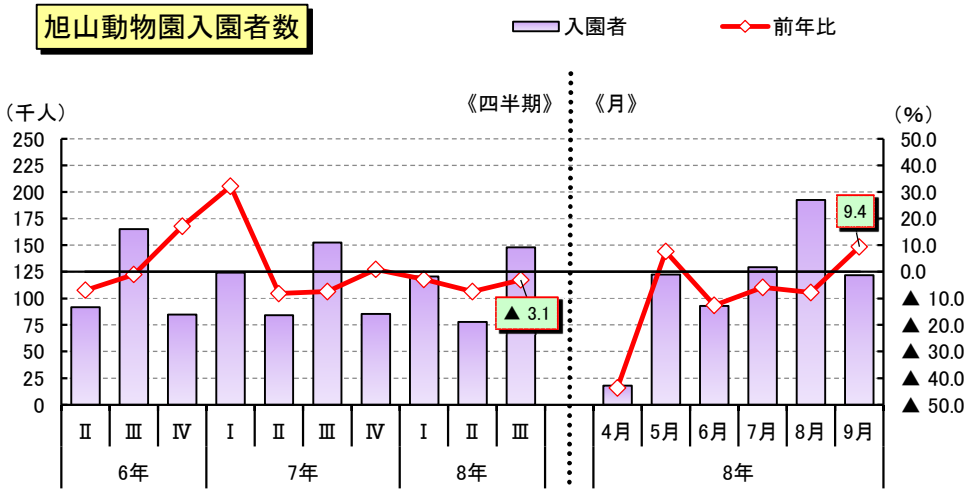
○ 空港乗降客数は、国際線の運休等から前年を下回っているものの、主要ホテル宿泊客数（旭川市内、層雲峡温泉）は、国内客が増加したことから前年を上回っている。

空港別乗降客数



（注）四半期分は3か月の平均。

旭山動物園入園者数



（注）四半期分は3か月の平均。

（単位：人、%）

	空港乗降客数									
	合計		旭川空港		うち国内便		うち国際便		稚内空港	
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
5 年	1,166,461	27.6	993,532	29.6	969,561	26.5	23,971	全増	172,929	17.1
6 年	1,308,781	12.2	1,125,378	13.3	1,087,156	12.1	38,222	59.5	183,403	6.1
7 年	1,410,424	7.8	1,223,151	8.7	1,160,100	6.7	63,051	65.0	187,273	2.1
7. 7～9	454,882	5.8	375,408	6.9	358,369	6.5	17,039	16.5	79,474	0.9
7. 10～12	301,441	▲ 0.4	267,048	▲ 0.8	257,620	▲ 0.4	9,428	▲ 10.4	34,393	2.7
8. 1～3	320,490	▲ 4.6	297,181	▲ 5.1	287,335	▲ 2.0	9,846	▲ 51.0	23,309	2.8
8. 4～6	305,865	▲ 3.9	252,545	▲ 5.6	252,545	0.7	0	全減	53,320	5.1
8. 7～9	438,423	▲ 3.6	356,141	▲ 5.1	355,625	▲ 0.8	516	▲ 97.0	82,282	3.5
R8.4	81,996	▲ 0.4	72,598	▲ 0.8	72,598	4.9	0	全減	9,398	3.5
R8.5	103,313	▲ 0.8	87,577	▲ 1.7	87,577	5.0	0	全減	15,736	4.6
R8.6	120,556	▲ 8.4	92,370	▲ 12.1	92,370	▲ 6.0	0	全減	28,186	5.9
R8.7	143,320	▲ 4.1	113,600	▲ 4.4	113,600	1.5	0	全減	29,720	▲ 2.6
R8.8	160,746	▲ 5.3	133,620	▲ 7.0	133,620	▲ 1.6	0	全減	27,126	4.3
R8.9	134,357	▲ 1.0	108,921	▲ 3.5	108,405	▲ 2.0	516	▲ 77.2	25,436	10.8

（注1）空港乗降客数は、定期便＋臨時便＋チャーター便である（令和4年11月発行分以降、過去に遡って空港乗降客数に臨時便を追加）。

（資料）旭川市、北海道エアポート㈱稚内空港事業所

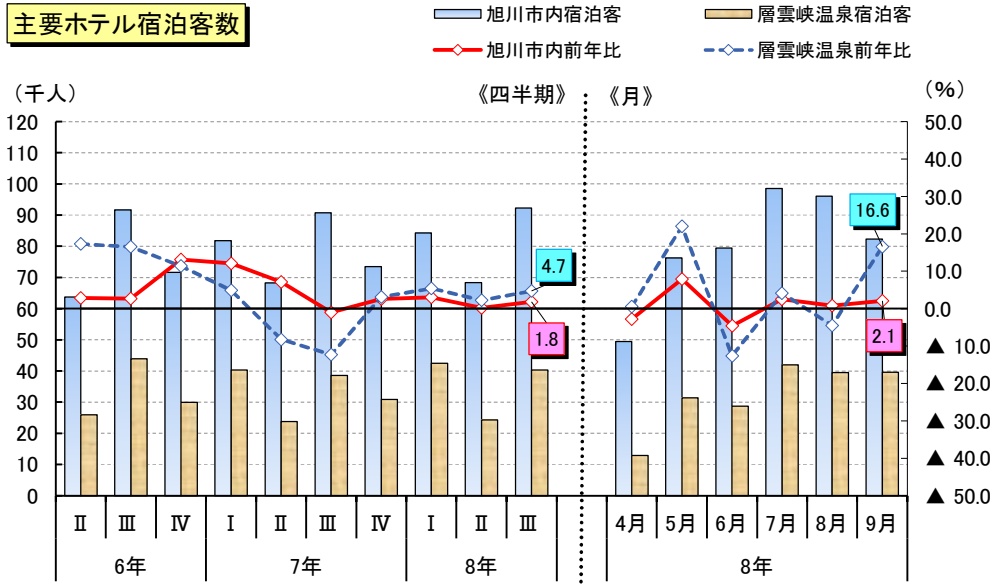
（単位：人、%、ポイント）

	旭山動物園		旭川市内主要ホテル				層雲峡温泉			
	入園者数		客室稼働率		宿泊客数		客室稼働率		宿泊客数	
		前年比		前年差		前年比		前年差		前年比
5 年	1,246,415	21.6	76.8	5.5	821,952	20.7	40.5	12.6	347,391	47.4
6 年	1,305,484	4.7	78.8	2.0	900,284	9.5	49.2	8.7	414,217	19.2
7 年	1,338,633	2.5	82.6	3.8	943,092	4.8	46.2	▲ 3.0	400,147	▲ 3.4
7. 7～9	457,700	▲ 7.5	89.6	0.1	272,167	▲ 1.0	51.1	▲ 11.1	115,547	▲ 12.3
7. 10～12	256,132	0.9	81.5	3.8	220,582	2.6	42.4	1.7	92,514	3.1
8. 1～3	361,670	▲ 2.9	87.7	2.7	252,811	3.0	59.8	3.2	127,278	5.4
8. 4～6	233,523	▲ 7.5	77.5	3.3	205,138	0.2	33.4	▲ 1.1	72,881	2.2
8. 7～9	443,679	▲ 3.1	91.7	2.1	276,955	1.8	53.3	2.2	120,993	4.7
R8.4	18,039	▲ 43.7	64.4	3.7	49,417	▲ 2.8	17.2	▲ 0.5	12,891	0.6
R8.5	122,497	7.6	79.3	5.9	76,278	7.9	41.1	4.1	31,333	22.0
R8.6	92,987	▲ 12.6	87.6	▲ 0.7	79,443	▲ 4.6	40.7	▲ 7.1	28,657	▲ 12.6
R8.7	129,413	▲ 5.9	94.1	3.3	98,499	2.5	55.9	0.0	41,955	4.1
R8.8	192,465	▲ 7.8	90.2	1.2	96,104	0.8	47.3	▲ 1.5	39,479	▲ 4.5
R8.9	121,801	9.4	90.7	1.8	82,352	2.1	56.9	8.4	39,559	16.6

（注1）旭川市内主要ホテルは、令和6年12月に集計対象ホテルが変更となったため過去に遡って数字自体を再計算している。

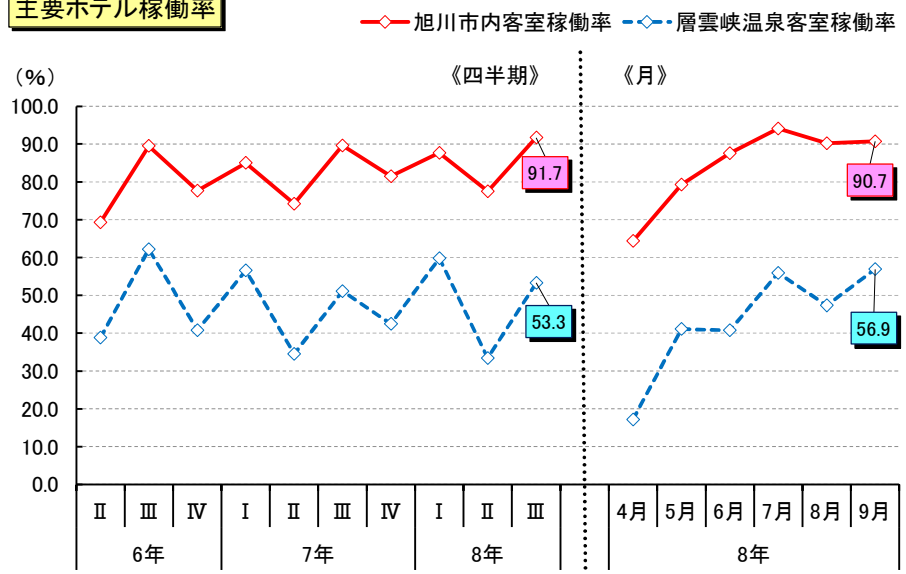
（資料）旭山動物園、旭川財務事務所

主要ホテル宿泊客数

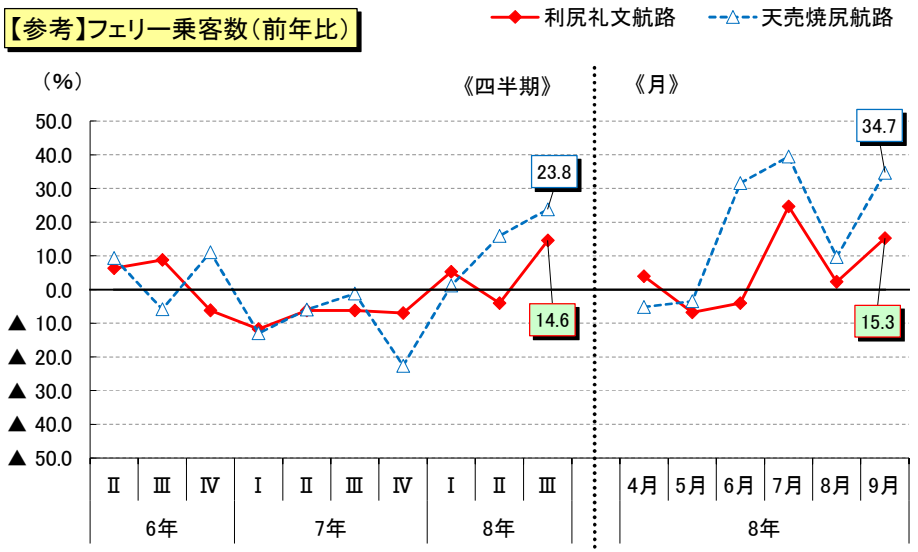


（注）四半期分は3か月の平均。

主要ホテル稼働率



【参考】フェリー乗客数（前年比）



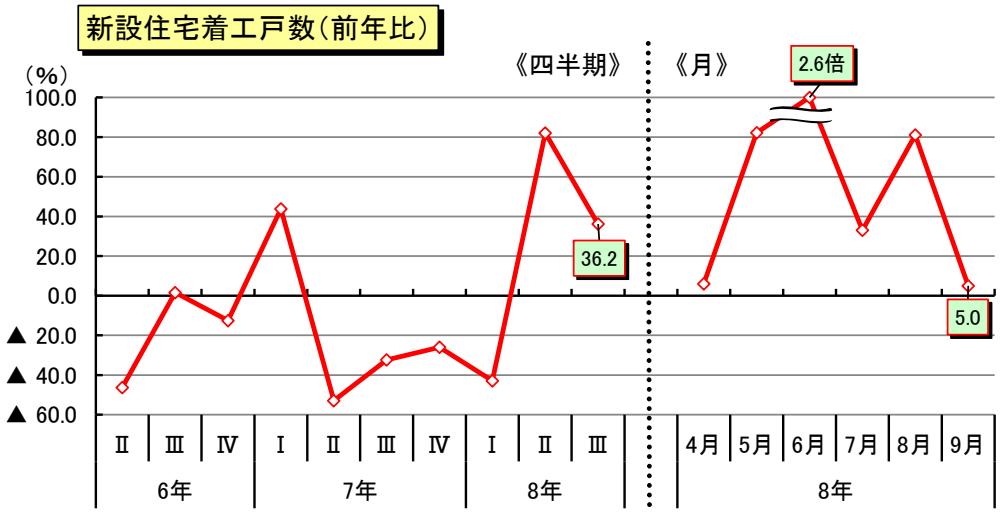
（資料）ハートランドフェリー㈱、羽幌沿海フェリー㈱

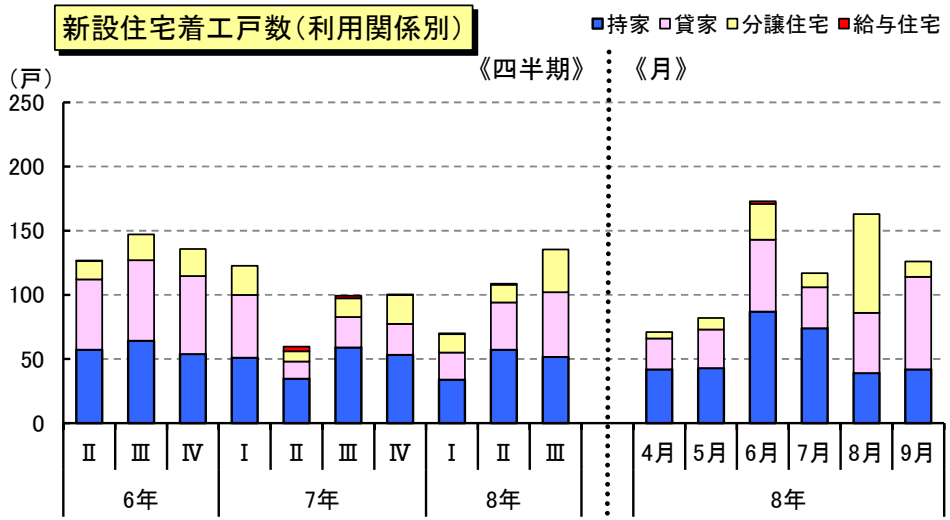
観光 生の声

- シルバーウィークの日並びが良かったことから道内客を中心に大きな動きが見られたほか、インバウンドも引き続き好調を維持している。また、10月以降は紅葉や倉本聰関連需要により、前年比プラスでの入込みを見込んでいる。（一般社団法人）
- 中国による渡航自粛の影響は限定的となっており、他のアジア圏からのインバウンドによりカバーされている。また、10月以降も東南アジアのツアーに動きがでてきているほか、旭川－伊丹線定期便化による関西方面からの新規顧客獲得にも期待している。（宿泊業）
- スキー需要が今年も旺盛で冬季予約は好調となっている。富良野スキー場が昨年加盟した世界各地のスキーリゾートで利用できる共通シーズンパスの効果で、海外からの更なるスキー需要増加を期待している。（宿泊業）
- シルバーウィークの日並びの良さのほか、食べマルシェもあり非常に活況だった。（一般社団法人）
- 十勝岳における噴火の可能性について、問い合わせが増えてきており、今後の警戒レベルによっては風評被害による需要減を心配している。（宿泊業）

3. 住 宅 建 設 ・・・ 一進一退の状況にある

○ 管内6市（旭川市、留萌市、稚内市、士別市、名寄市、富良野市）の新設住宅着工戸数は、持家が前年を下回っているものの、貸家、分譲住宅が前年を上回っていることから、全体では前年を上回っている。





（注）四半期分は3か月の平均。

○新設住宅着工戸数合計　（単位：戸、%）

	旭川・留萌・稚内・士別・名寄・富良野の各市計									
					利用関係別					
			うち旭川市		持家		貸家		分譲住宅	
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
5年	1,910	5.6	1,376	▲ 12.3	683	▲ 16.5	726	2.3	295	11.7
6年	1,484	▲ 22.3	1,067	▲ 22.5	623	▲ 8.8	658	▲ 9.4	201	▲ 31.9
7年	1,146	▲ 22.8	946	▲ 11.3	594	▲ 4.7	330	▲ 49.8	204	1.5
7. 7～9	298	▲ 32.4	234	▲ 29.3	177	▲ 8.3	71	▲ 62.2	44	▲ 26.7
7. 10～12	301	▲ 26.0	277	▲ 17.6	160	▲ 1.2	72	▲ 60.4	68	7.9
8. 1～3	210	▲ 42.9	187	▲ 41.4	102	▲ 33.3	63	▲ 57.1	43	▲ 36.8
8. 4～6	326	82.1	251	2.2倍	172	65.4	110	2.8倍	42	75.0
8. 7～9	406	36.2	378	61.5	155	▲ 12.4	151	2.1倍	100	2.3倍
R8.4	71	6.0	60	53.8	42	40.0	24	20.0	5	▲ 28.6
R8.5	82	82.2	68	2.8倍	43	72.0	30	2.1倍	9	50.0
R8.6	173	2.6倍	123	2.3倍	87	77.6	56	9.3倍	28	2.5倍
R8.7	117	33.0	108	45.9	74	21.3	32	2.0倍	11	0.0
R8.8	163	81.1	150	94.8	39	▲ 29.1	47	2.1倍	77	8.6倍
R8.9	126	5.0	120	44.6	42	▲ 31.1	72	2.2倍	12	▲ 50.0

（資料）国土交通省

住宅建設 生の声

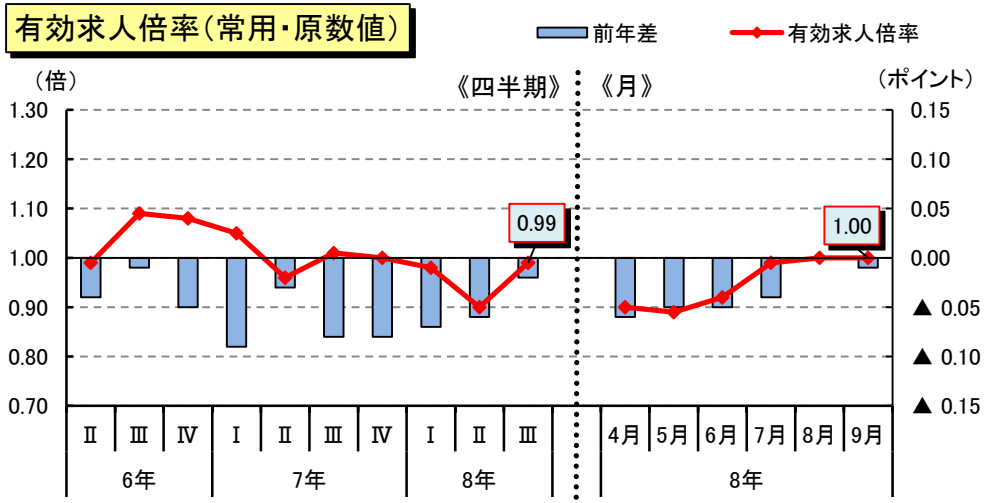
- 中東情勢の影響として、建築資材の納期の延長は解消されつつあるものの、運搬費の上昇などから石油由来かどうかにかかわらず値上がりが続いている。（一般社団法人）
- 新築をあきらめた顧客が多くいる一方で、リフォーム需要が旺盛となっており、建築業者の売上の下支えとなっている。（一般社団法人）
- 資材高騰、金利上昇の中、自己資金の比率が増えており、賃貸住宅のオーナーになる資力のある人が減っている。（建設業）
- 建築確認申請が足下で減少しているのは、建築費高騰による需要の減退が背景と考えられる。（一般社団法人）

4. 雇　用　情　勢　・・・　持ち直しつつある

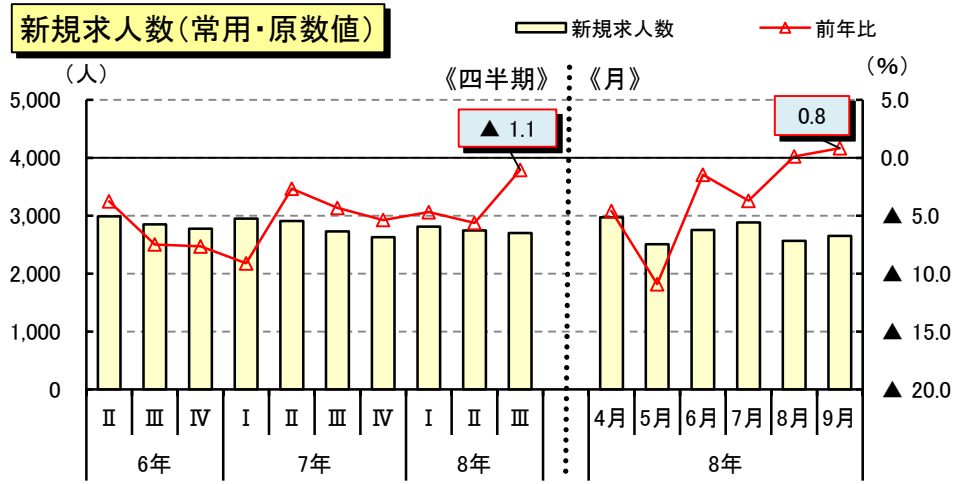
○ 有効求人倍率（常用）は、有効求人数（常用）が減少していることなどから、前年を下回っているものの、改善傾向がみられる。

○ 新規求人数（常用）は、「医療、福祉」、「公務・その他」等が増加しているものの、「卸売業、小売業」、「サービス業」等が減少していることから、前年を下回っている。

有効求人倍率（常用・原数値）



新規求人数（常用・原数値）



（注）四半期分は3か月の平均。

（単位：倍、ポイント、人、%）

	有効求職者数（常用・原数値）	前年比	有効求人数（常用・原数値）	前年比	有効求人倍率（常用・原数値）	前年差	新規求職者数（常用・原数値）	前年比	新規求人数（常用・原数値）	前年比
5 年	97,189	▲ 1.2	108,795	▲ 8.5	1.12	▲ 0.09	17,919	▲ 0.4	38,086	▲ 9.6
6 年	95,458	▲ 1.8	102,212	▲ 6.1	1.07	▲ 0.05	17,800	▲ 0.7	35,590	▲ 6.6
7 年	96,033	0.6	96,364	▲ 5.7	1.00	▲ 0.07	17,559	▲ 1.4	33,647	▲ 5.5
7. 7～9	23,653	2.1	23,960	▲ 5.0	1.01	▲ 0.08	3,779	2.3	8,187	▲ 4.3
7. 10～12	22,871	1.5	22,912	▲ 5.5	1.00	▲ 0.08	3,780	▲ 1.9	7,884	▲ 5.4
8. 1～3	23,467	0.1	23,006	▲ 6.3	0.98	▲ 0.07	4,701	▲ 0.7	8,436	▲ 4.7
8. 4～6	26,010	▲ 0.2	23,482	▲ 5.9	0.90	▲ 0.06	5,126	▲ 2.6	8,234	▲ 5.6
8. 7～9	23,541	▲ 0.5	23,394	▲ 2.4	0.99	▲ 0.02	3,759	▲ 0.5	8,101	▲ 1.1
R8.4	8,746	▲ 0.5	7,859	▲ 6.5	0.90	▲ 0.06	2,365	▲ 2.3	2,972	▲ 4.6
R8.5	8,673	▲ 1.2	7,755	▲ 6.4	0.89	▲ 0.05	1,384	▲ 7.2	2,508	▲ 10.9
R8.6	8,591	1.2	7,868	▲ 4.8	0.92	▲ 0.05	1,377	1.7	2,754	▲ 1.5
R8.7	7,950	▲ 0.7	7,844	▲ 4.5	0.99	▲ 0.04	1,269	▲ 4.5	2,884	▲ 3.7
R8.8	7,839	▲ 0.4	7,810	▲ 1.2	1.00	0.00	1,248	2.8	2,566	0.1
R8.9	7,752	▲ 0.3	7,740	▲ 1.4	1.00	▲ 0.01	1,242	0.5	2,651	0.8

（資料）　旭川・稚内・留萌・名寄公共職業安定所

雇用情勢 生の声

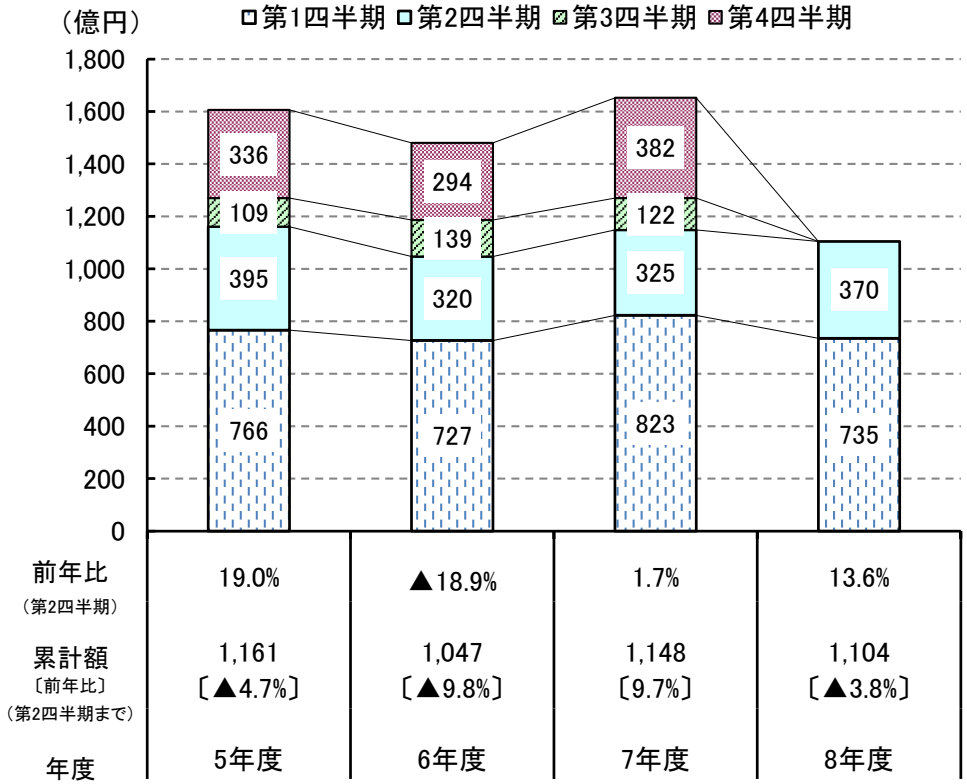
- 人手不足の状況が続いており、新卒を含む新規採用は厳しい状況にある。（小売業）
- 増員等を見送って、求人募集を必要最低限に絞っている状況であり、人手不足感が解消されている訳ではない。（公的機関）
- 求人の減少はここにきてようやく底を打った感が出てきている。（公的機関）
- 求人数、求職者数の減少や双方のミスマッチから就職件数は前年を下回っている。（公的機関）

５．公　共　事　業　・・・　前年を上回る

○ 公共事業を前払金保証請負金額でみると、第2四半期は、留萌及び宗谷地域が前年を下回っているものの、上川地域が前年を上回っていることから、全体では前年を上回っている。

○ 年度累計（第1四半期から第2四半期まで）は、前年を下回っている。

公共工事前払金保証請負金額（累計）



（単位：百万円、%）

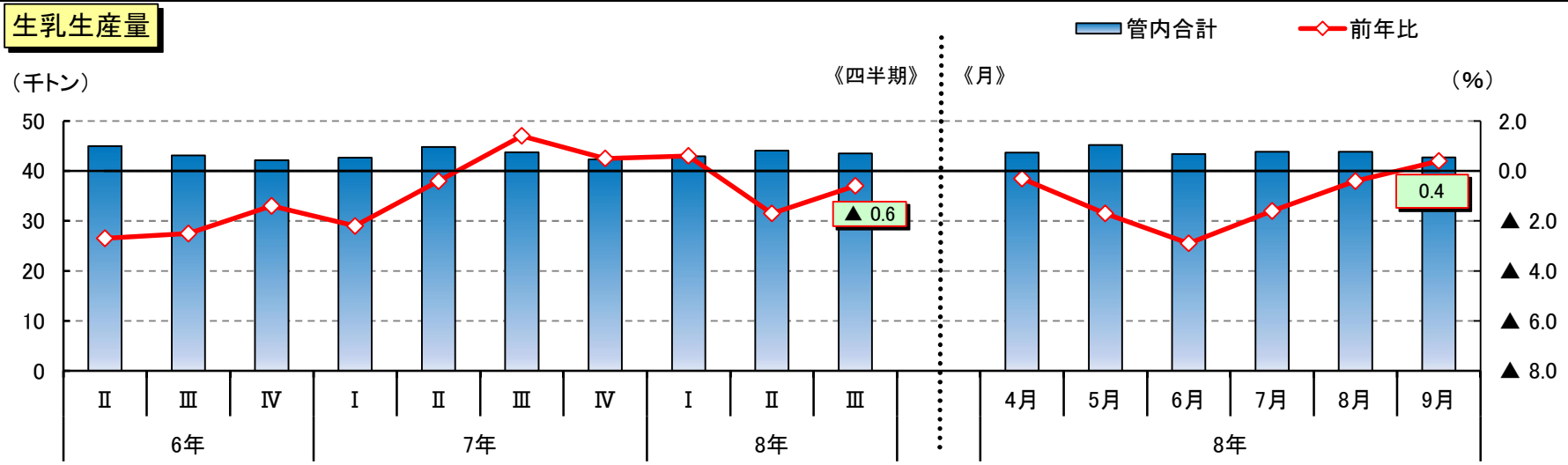
	公共工事前払金保証請負金額							
	合　計	前年比	上川	前年比	留萌	前年比	宗谷	前年比
5 年度	160,573	2.6	98,634	4.1	25,302	▲ 20.4	36,636	22.5
6 年度	148,025	▲ 7.8	89,670	▲ 9.1	25,046	▲ 1.0	33,308	▲ 9.1
7 年度	165,232	11.6	104,708	16.8	29,650	18.4	30,872	▲ 7.3
7. 7～9	32,543	1.7	19,083	▲ 2.5	5,870	15.2	7,591	3.5
7. 10～12	12,163	▲ 12.5	7,824	30.0	1,916	▲ 19.9	2,424	▲ 55.8
8. 1～3	38,243	30.0	29,132	35.0	4,068	49.3	5,041	▲ 1.4
8. 4～6	73,484	▲ 10.7	41,361	▲ 15.0	13,414	▲ 24.6	18,708	18.3
8. 7～9	36,961	13.6	24,878	30.4	5,281	▲ 10.0	6,802	▲ 10.4
R8.4	20,904	▲ 30.3	13,760	▲ 25.0	3,152	▲ 47.8	3,991	▲ 29.1
R8.5	23,907	▲ 15.8	12,382	▲ 28.5	3,766	▲ 47.7	7,759	2.0倍
R8.6	28,671	20.0	15,218	16.8	6,496	42.4	6,957	10.4
R8.7	16,843	▲ 3.6	11,311	9.0	2,676	22.2	2,855	▲ 41.8
R8.8	11,526	30.2	7,855	46.4	1,433	▲ 35.2	2,238	75.4
R8.9	8,591	38.1	5,711	70.9	1,171	▲ 20.2	1,708	21.2

（資料）北海道建設業信用保証㈱

6. 生 乳 生 産 ･･･ 前年を下回る

○ 生乳生産量は、上川地域が前年を上回っているものの、留萌及び宗谷地域が前年を下回っていることから、全体では前年を下回っている。

生乳生産量



（注）四半期分は3か月の平均。

○生乳生産量（生乳受託販売実績）　（単位：トン、%）

	合計	前年比	上川	前年比	留萌	前年比	宗谷	前年比
5 年	533,350	▲ 3.9	172,711	▲ 0.8	61,612	▲ 5.1	299,028	▲ 5.4
6 年	521,499	▲ 2.2	171,245	▲ 0.8	57,797	▲ 6.2	292,457	▲ 2.2
7 年	520,560	▲ 0.2	173,936	1.6	55,792	▲ 3.5	290,832	▲ 0.6
7. 7～9	131,143	1.4	43,772	2.6	13,976	0.1	73,394	1.0
7. 10～12	126,994	0.5	42,524	1.4	13,522	▲ 2.3	70,948	0.6
8. 1～3	128,744	0.6	43,108	1.0	13,653	▲ 1.2	71,982	0.7
8. 4～6	132,207	▲ 1.7	44,361	▲ 1.4	14,124	▲ 2.5	73,722	▲ 1.7
8. 7～9	130,413	▲ 0.6	44,038	0.6	13,876	▲ 0.7	72,498	▲ 1.2
R8.4	43,669	▲ 0.3	14,702	0.2	4,662	▲ 1.9	24,305	▲ 0.3
R8.5	45,176	▲ 1.7	15,141	▲ 1.6	4,818	▲ 3.1	25,218	▲ 1.4
R8.6	43,361	▲ 2.9	14,519	▲ 2.6	4,643	▲ 2.3	24,199	▲ 3.2
R8.7	43,855	▲ 1.6	14,803	▲ 0.6	4,697	▲ 0.8	24,356	▲ 2.4
R8.8	43,850	▲ 0.4	14,853	1.0	4,664	▲ 0.4	24,333	▲ 1.3
R8.9	42,707	0.4	14,382	1.4	4,515	▲ 0.9	23,810	0.1

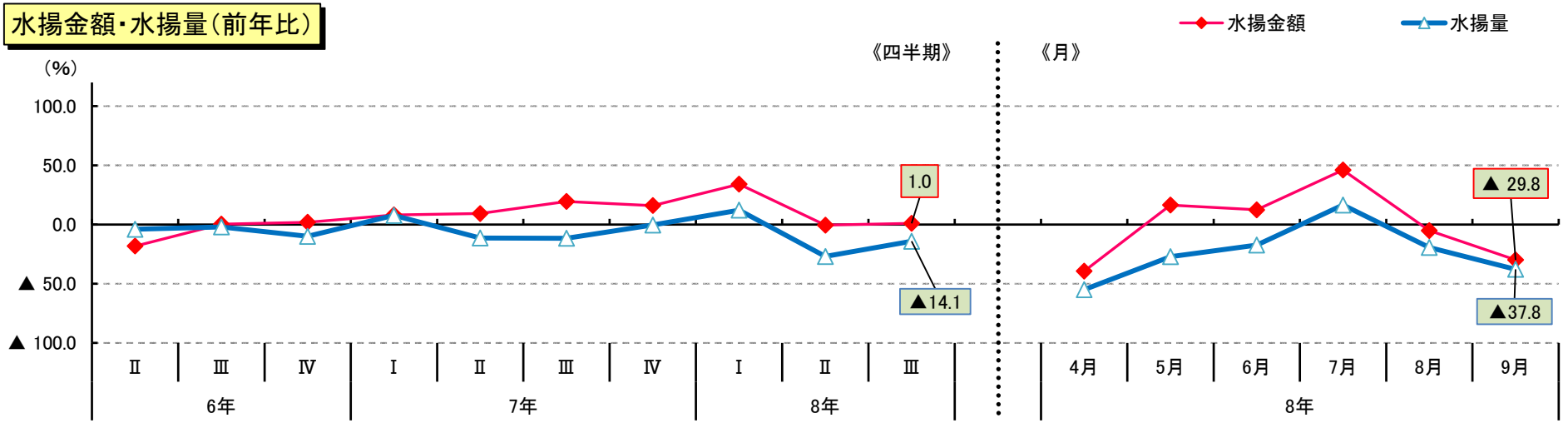
（資料）ホクレン旭川・留萌・稚内支所、ＪＡきたそらち

7. 漁　　業 ・・・ 水揚金額は前年を上回る

○ 水揚金額は、サケ・マス等が減少しているものの、ホッケ、コンブ等が増加していることから、前年を上回っている。

○ 水揚量は前年を下回っている。

水揚金額・水揚量（前年比）



○水揚金額　　（単位：百万円、%）

	合計		うちサケ・マス		うちホッケ		うちタコ		うちコンブ		うちタラ	
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
5 年	41,607	▲ 26.7	4,788	▲ 56.4	1,066	2.8倍	2,354	18.8	560	▲ 5.9	780	37.9
6 年	39,512	▲ 5.0	3,616	▲ 24.5	1,119	4.9	2,137	▲ 9.2	610	8.9	655	▲ 16.0
7 年	45,304	14.7	3,305	▲ 8.6	792	▲ 29.2	1,152	▲ 46.1	843	38.2	1,105	68.6
7. 7～9	18,332	19.5	2,405	2.8	380	▲ 22.7	395	▲ 36.4	182	2.6	26	▲ 36.0
7. 10～12	10,303	16.0	891	▲ 29.8	257	26.3	194	▲ 26.4	566	44.5	237	2.6倍
8. 1～3	5,244	34.1	-	全減	94	2.2倍	28	20.1	96	45.0	1,365	3.1倍
8. 4～6	12,687	▲ 0.5	22	2.3倍	150	34.8	558	3.7	22	▲ 23.1	1,103	2.8倍
8. 7～9	18,515	1.0	1,645	▲ 31.6	674	77.3	587	48.7	384	2.1倍	107	4.1倍
R8.4	2,120	▲ 39.3	1	5.5倍	55	3.5倍	80	▲ 16.6	-	-	279	2.0倍
R8.5	4,316	16.5	18	3.2倍	55	2.3倍	214	▲ 4.0	17	11.6	469	3.0倍
R8.6	6,251	12.4	2	▲ 31.1	40	▲ 43.8	265	20.2	6	▲ 60.7	355	3.5倍
R8.7	8,241	46.0	0	▲ 85.9	240	54.9	323	43.9	-	-	70	4.5倍
R8.8	5,250	▲ 5.1	441	94.9	230	95.9	94	45.4	92	2.8倍	3	2.3倍
R8.9	5,024	▲ 29.8	1,204	▲ 44.7	203	89.4	170	61.0	293	97.0	34	3.7倍

（資料）新星マリン・稚内機船・稚内・宗谷・猿払村・枝幸漁業協同組合

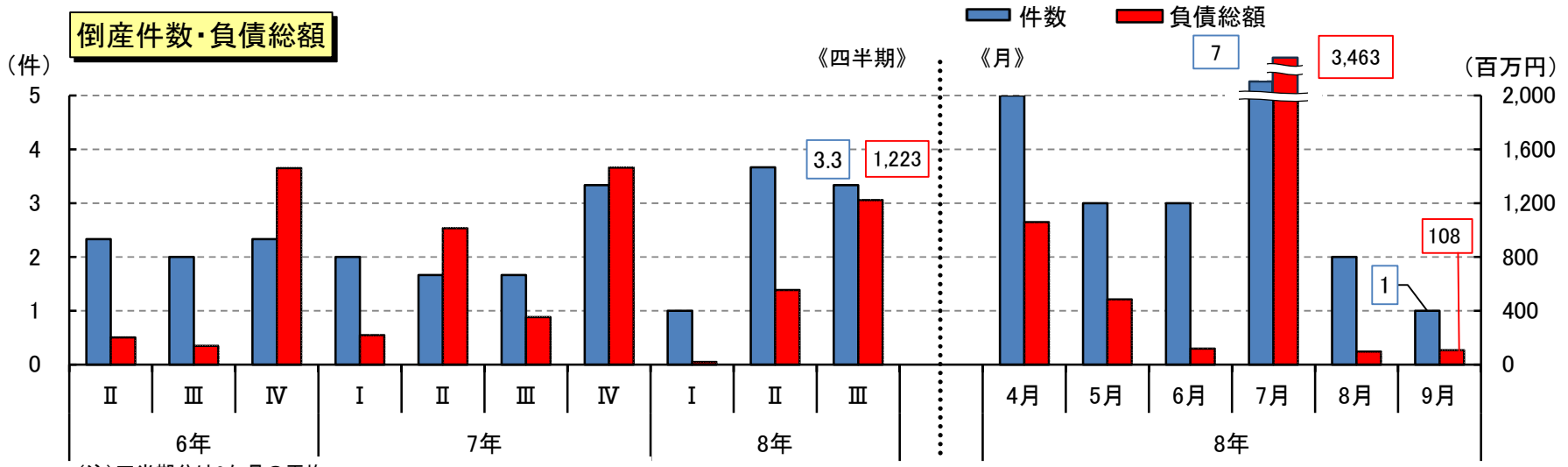
○水揚量　　（単位：トン、%）

	合計		うちサケ・マス		うちホッケ		うちタコ		うちコンブ		うちタラ	
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
5 年	147,114	▲ 12.9	8,128	▲ 44.7	7,675	88.0	2,148	▲ 11.1	231	▲ 20.3	3,713	14.4
6 年	139,699	▲ 5.0	3,821	▲ 53.0	6,324	▲ 17.6	2,410	12.2	181	▲ 21.7	3,746	0.9
7 年	128,126	▲ 8.3	2,687	▲ 29.7	2,252	▲ 64.4	1,330	▲ 44.8	213	17.6	5,979	59.6
7. 7～9	48,418	▲ 11.6	2,061	▲ 11.8	974	▲ 55.1	431	▲ 39.0	49	▲ 20.4	104	▲ 46.1
7. 10～12	28,983	▲ 0.4	613	▲ 58.4	717	▲ 12.4	202	▲ 39.0	138	34.2	661	2.4倍
8. 1～3	7,803	12.1	-	全減	423	93.6	31	▲ 8.7	23	41.9	4,199	38.6
8. 4～6	31,984	▲ 26.9	28	2.1倍	403	17.7	458	▲ 30.9	6	▲ 41.5	3,243	48.5
8. 7～9	41,569	▲ 14.1	1,016	▲ 50.7	2,395	2.5倍	506	17.4	56	14.8	274	2.6倍
R8.4	3,128	▲ 55.0	1	3.1倍	152	2.1倍	84	▲ 40.0	-	-	782	6.5
R8.5	11,837	▲ 27.1	23	3.0倍	154	94.2	171	▲ 37.6	4	4.0	1,488	52.8
R8.6	17,018	▲ 17.3	3	▲ 36.1	97	▲ 49.3	203	▲ 18.4	1	▲ 75.9	972	2.0倍
R8.7	18,615	16.5	0	▲ 91.2	901	2.1倍	259	4.6	-	-	185	2.7倍
R8.8	12,173	▲ 19.4	287	85.2	1,006	3.5倍	86	16.9	14	56.9	9	32.3
R8.9	10,781	▲ 37.8	730	▲ 61.7	487	86.9	161	46.4	42	5.6	80	2.7倍

（資料）新星マリン・稚内機船・稚内・宗谷・猿払村・枝幸漁業協同組合

8. 企 業 倒 産 ･･･ 件数は前年を上回る

○ 企業倒産をみると、件数、負債総額ともに前年を上回っている。



（注）四半期分は3か月の平均。

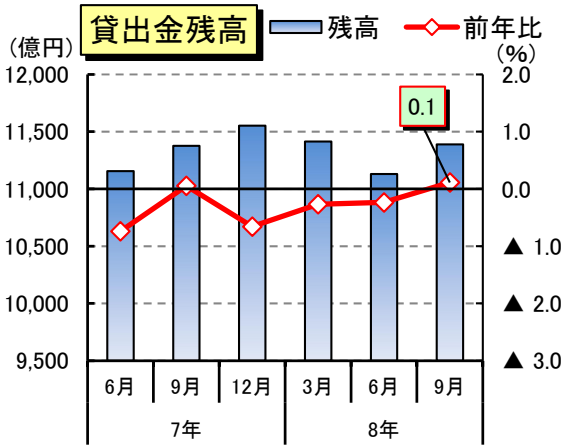
(単位：件、百万円、%)

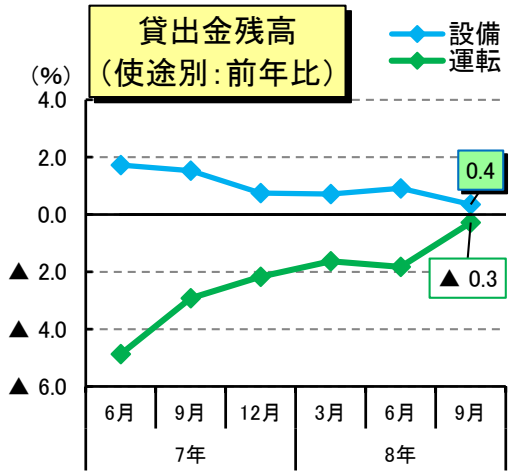
	件数		業種別							負債総額	
		前年比	うち農林	うち不動産	うち運輸	うちｻｰﾋﾞｽ	うち建設	うち製造	うち販売		前年比
5 年	23	15.0	3	-	-	6	6	1	7	2,044	▲ 1.3
6 年	31	34.8	1	1	2	9	5	3	9	7,766	3.8倍
7 年	26	▲ 16.1	-	-	2	9	2	3	10	9,154	17.9
7. 7～9	5	▲ 16.7	-	-	1	1	1	1	1	1,060	2.5倍
7. 10～12	10	42.9	-	-	1	2	1	2	4	4,394	0.3
8. 1～3	3	▲ 50.0	-	-	-	1	-	1	1	59	▲ 91.0
8. 4～6	11	2.2倍	-	-	-	5	4	1	1	1,664	▲ 45.3
8. 7～9	10	2.0倍	-	-	-	2	2	1	5	3,668	3.5倍
R8.4	5	66.7	-	-	-	3	2	-	-	1,060	▲ 64.7
R8.5	3	3.0倍	-	-	-	1	2	-	-	485	18.0倍
R8.6	3	3.0倍	-	-	-	1	-	1	1	119	11.3倍
R8.7	7	3.5倍	-	-	-	2	2	1	2	3,463	4.1倍
R8.8	2	2.0倍	-	-	-	-	-	-	2	97	92.3
R8.9	1	▲ 50.0	-	-	-	-	-	-	1	108	▲ 31.9

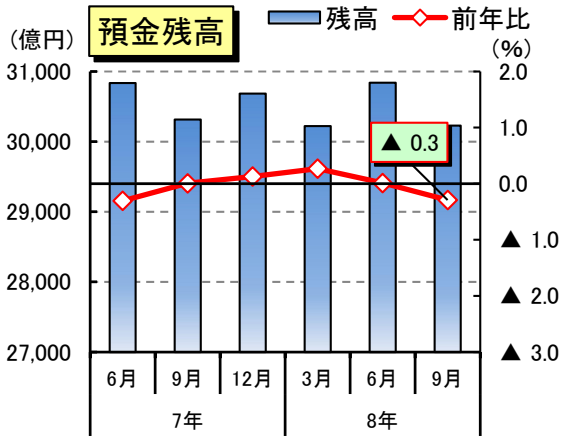
(注)負債総額1千万円以上。
(資料)㈱東京商工リサーチ

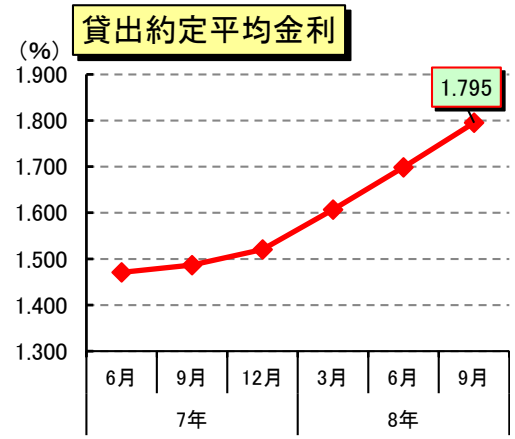
９．金　　融　・・・　貸出金残高は前年を上回る

○ 金融機関の貸出金残高は、運転資金が減少しているものの、設備資金が増加していることから、前年を上回っている。
○ 金融機関の預金残高は、定期性が増加しているものの、流動性が減少していることから、前年を下回っている。
○ 貸出約定平均金利は、前年を上回って推移している。









（単位：億円、%）

	貸出金	前年比	設備	前年比	運転	前年比	地公体	前年比
R7.6	11,156	▲ 0.7	6,485	1.7	3,508	▲ 4.9	1,162	▲ 1.2
R7.9	11,376	0.1	6,505	1.5	3,750	▲ 2.9	1,121	1.9
R7.12	11,553	▲ 0.7	6,528	0.7	3,895	▲ 2.2	1,129	▲ 3.3
R8.3	11,415	▲ 0.3	6,532	0.7	3,584	▲ 1.6	1,299	▲ 1.3
R8.6	11,130	▲ 0.2	6,544	0.9	3,444	▲ 1.8	1,141	▲ 1.8
R8.9	11,389	0.1	6,528	0.4	3,740	▲ 0.3	1,121	0.0

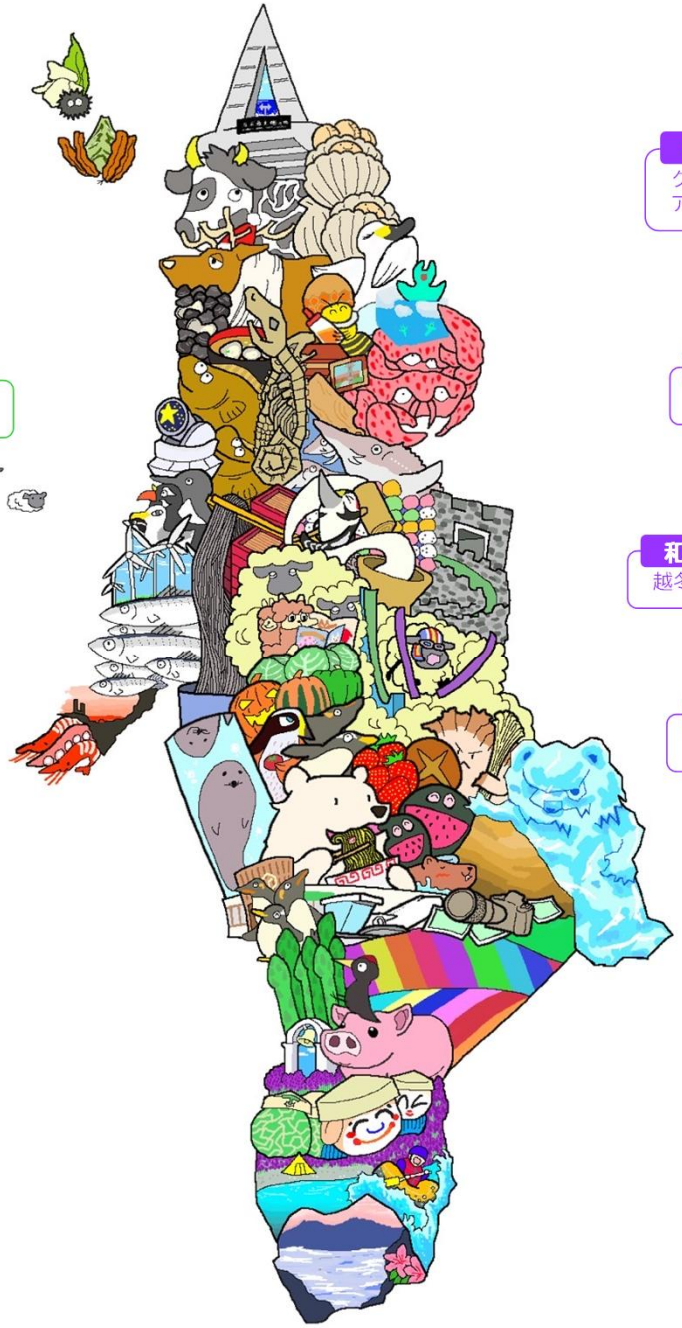
（単位：億円、%、ポイント）

	預金	前年比	うち流動性	前年比	うち定期性	前年比	貸出約定平均金利	前四半期差
R7.6	30,835	▲ 0.3	18,893	▲ 0.4	11,928	▲ 0.1	1.471	0.072
R7.9	30,316	0.0	18,561	▲ 0.3	11,737	0.4	1.487	0.016
R7.12	30,685	0.1	18,957	▲ 0.4	11,710	0.9	1.520	0.034
R8.3	30,221	0.3	18,830	▲ 0.2	11,373	0.9	1.607	0.087
R8.6	30,839	0.0	19,022	0.7	11,797	▲ 1.1	1.699	0.092
R8.9	30,228	▲ 0.3	18,458	▲ 0.6	11,755	0.1	1.795	0.097

（注1）管内に所在する銀行、信用金庫、信用組合の本支店分の合計。（ゆうちょ銀行を含まない。）
（注2）預金の性質別には、外貨預金等を含まない。
（注3）単位未満は切り捨て。
（注4）前年比、前四半期差は支店調整済数値で計算しているため、表から算出したものとは一致しない。
（注5）令和2年5月以降の貸出約定平均金利について、実質無利子無担保融資の貸出金利を0%として報告する金融機関が一部含まれている。

（資料）　旭川財務事務所

道北41市町村 名物軍団



宗谷

- 礼文町：ウニ、レブンアツモリソウ
- 稚内市：宗谷岬
- 利尻富士町：利尻山
- 猿払村：ホタテ
- 利尻町：利尻昆布
- 浜頓別町：白鳥
- 豊富町：乳牛、豊富温泉
- 枝幸町：クリオネ、毛ガニ
- 幌延町：トナカイ
- 中頓別町：はちみつ

留萌

- 天塩町：シジミ
- 初山別村：天文台
- 遠別町：ヒラメ
- 羽幌町：海鳥、オロロン鳥(天売島)、焼尻サフォーク(焼尻島)
- 苫前町：風力発電
- 小平町：ニシン
- 増毛町：甘エビ、タコ
- 留萌市：黄金岬

上川

- 中川町：クビナガリュウ化石、アンモナイト化石
- 音威子府村：木工品
- 美深町：チョウザメ
- 名寄市：アカゲラ、もち米
- 幌加内町：ほろかないそば
- 士別市：士別サフォーク、ジャンプ台
- 剣淵町：絵本、アルパカ
- 下川町：万里長城
- 和寒町：越冬キャベツ、カボチャ
- 愛別町：きのこ
- 比布町：いちご
- 上川町：層雲峡、ヒグマ、氷瀑まつり
- 鷹栖町：鷹、トマト
- 旭川市：旭山動物園、旭川ラーメン
- 当麻町：でんすけすいか
- 東神楽町：空港
- 東川町：写真
- 中富良野町：ラベンダー
- 美瑛町：アスパラガス、クマゲラ、美瑛パッチワークの丘
- 富良野市：富良野メロン、へそ祭り
- 上富良野町：かみふらのポーク
- 南富良野町：キャンプ、ラフティング、ラベンダー
- 占冠村：雲海、ツツジ

道北経済レポートは、北海道財務局ホームページ及び各種公式SNSでもご覧いただけます。

公式ホームページ

https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/asahikawa/keizai_geppo-1.html

公式X（旧Twitter）

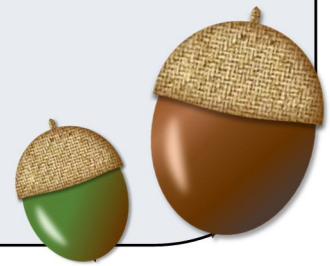
https://x.com/mof_hokkaido

公式Facebook

https://www.facebook.com/Hokkaido.Local.Finance.Bureau/

公式Instagram

https://www.instagram.com/mof_lfb_hk



【 本レポートに関する問い合わせ先 】

財務省　旭川財務事務所　財務課

〒078-8503

旭川市宮前1条3丁目3番15号

旭川地方合同庁舎　東館4階

電話：0166-31-4151



